

大正時代の資料もあります

～図書館では、その当時発行された資料も大切に保存しています。

大正時代の岡山を、詳細に調べることができます～

人物

当時発行された、政治家、実業家、商店主など名士たちの人名録があります。

☆『岡山懸興信録』／岡山興信所／大正13年

☆『岡山市興信録附郡部人物傳』／新声時報社／大正11年

統計

当時の人口、気象、教育（学校数、児童数等）、財政（税収入等）、商工業（労働賃金等）など、詳細な数値がわかります。

☆『岡山市統計年報』／岡山市／（明治41～44年、大正元～3、5、6、8、14年）

☆『岡山懸統計書』／岡山懸／（明治40、42、43、大正元年、6、8、11、12、15年）

※大正11年より『岡山懸統計年報』

商業

商工会が発行した会報や商店名簿（案内）などがあります。当時の商工業の様子のほか、売上高や商店主なども記載されています。

☆『岡山商工彙報』(雑誌)／岡山商工彙報社／（明治41年～大正15年）

☆『岡山商工人名録』明治四十二年版／岡山商業会議所／明治42年

☆『西大寺商工案内』／西大寺商工会／大正15年

雑誌・新聞

一般誌のほか、教育・文学など様々な雑誌があります。また、山陽新聞の前身、山陽新報も原紙・マイクロフィルムがありますので、ご活用いただけます。

☆『岡山懸人』(一般雑誌)／岡山懸人社／（明治45年～大正7年）

☆『黄薇之友』(一般雑誌)／黄薇社／（大正7～11年）

☆『岡山懸教育會誌』(教育雑誌)／岡山懸教育會／（大正元年～8年）

☆『山陽新報』(新聞)／（一部欠号あり）

地図

☆『岡山市明細地図附接近郡村地図』／明治44年、大正4、6、9年

☆『岡山市北部 5万分の1地形図』／大正元年

※その他の年代・場所の地図もあります。詳細は中央図書館までお問い合わせください。

岡山市立図書館

調べ方ガイド

No. 10

大正時代の 岡山について 調べるには

平成23年は、大正元年から数えてちょうど100年。

明治末～大正時代の岡山は、路面電車や軽便鉄道などの交通網の整備、藤田村創設に代表される児島湾干拓、横綱常ノ花の誕生や人見絹江さんの活躍など、非常に活気のある時代でした。

現在にも深く関わるあの頃を眺めてみましょう。

大正時代の岡山の歴史

当時の様子を写真で見よう

大正時代のトピックス

大正時代の資料もあります



大正初期の岡山駅前（岡山市立中央図書館所蔵）

平成22年12月19日作成

大正時代の岡山の歴史

～大正時代の岡山は、どんな様子だったのでしょうか～

■『岡山市百年史』上巻／岡山市／平成元年

岡山市制百周年を記念して編纂された図書。上巻は、明治から戦前まで。岡山市政を中心に、社会、産業、教育、文化など、幅広い視点から書かれています。

■『目でみる岡山の歴史』／日本文教出版／昭和61年

大正時代1年ごとを、その年のトピックスとそれにまつわる写真や新聞、ポスターなどで紹介。政治、経済から、スポーツ、芸能、娯楽まで、その年に何があったかがよくわかります。

■『岡山県史』第11巻(近代II)／岡山県／昭和62年

大正時代の県内の歴史が、県政や産業、経済、社会の面から、詳細に書かれています。

当時の様子を写真で見よう

～文字だけではわかりづらい、当時の情景、生活。人々の表情も見て取れます～

■『岡山県民の明治大正』／山陽新聞社／昭和62年

岡山県の明治・大正時代の歴史を様々な角度から写した写真集です。大きな写真で、見やすくまとめられています。

■『目でみる岡山・玉野の100年』／郷土出版社／平成13年

明治から昭和まで全350枚の写真による、見て読む、郷土史の図書です。

■『写真集 明治大正昭和 岡山』／図書刊行会／昭和53年

町並み、乗りもの、岡山駅とその周辺、学校、などのテーマに沿って、写真が掲載されています。

■『新聞記事と写真で見る世相おやかま 昭和戦前明治大正編』／山陽新聞社／平成2年

山陽新聞前身の山陽新報と合同新聞の記事や写真を元に、各年の出来事をまとめています。重大事件だけでなく、世相や庶民生活の記事や写真が多く載っています。

凡例：■＝図書・雑誌資料、[Web](#)＝インターネット情報、☆＝中央図書館所蔵郷土資料（閲覧のみ）

注：ウェブサイトのアドレスは、平成22年12月現在。

：雑誌には欠号があるものもあります。詳細は中央図書館までお問い合わせ下さい。

大正時代のトピックス

交通

路面電車や西大寺軽便が営業を開始・活躍しました。宇高連絡船も就航しており、経済・産業活動に大きな役割を果たしました。

■『岡山の交通』／藤沢晋／日本文教出版／平成10年

■『西大寺鉄道』／安保彰夫／ネコパブリッシング／平成19年

[Web](#)『両備岡電デジタルのりもの博物館』

http://www.rrr.gr.jp/digital_museum/

■『就航100周年宇高連絡船の歴史』／岡山市デジタルミュージアム／平成22年

■『宇野港物語』／山陽新聞社／平成元年

児島湾干拓

児島湾の干拓が進み、明治45年、今に続く藤田村が創設されました。その後も干拓事業は行われ、その多くが現在の岡山市となっています。

■『岡山の干拓』／進昌三・吉岡三平／日本文教出版／平成8年

☆『藤田村史』／藤田村史編さん委員会／岡山市役所藤田支所／昭和52年

☆『藤田組の経営者群像』／進昌三・吉岡三平／日本文教出版／平成8年

[Web](#)『岡山の干拓物語』

<http://www.city.okayama.jp/museum/kantaku/index.htm>

スポーツ

岡山市出身の常ノ花が、大正9年に大関、大正13年に第31代横綱になりました。また、人見絹江さんは、大正15年の世界女子オリンピックストックホルム大会で個人総合優勝、昭和3年のオリンピックアムステルダム大会で銀メダルを獲得しました。

■『土俵の華 常ノ花』／佐藤豊行／西日本法規出版／平成8年

■『すもう常ノ花と私』／山野辺静代／ベースボールマガジン社／昭和58年

[Web](#)『郷土岡山が生んだ名横綱常の花』

<http://www.city.okayama.jp/museum/tsunenohana/index.html>

■『人見絹江－炎のスプリンター』／人見絹江／日本図書センター／平成9年

■『人見絹江物語－ライジングガールー』／比古地朔弥／祥伝社／平成17年